南城市 ボラセン情報

H24.7.16　No.3

南城市ボランティアセンター
南城市社会福祉協議会
〒901-1206　南城市大里字仲間918
（南城市総合保健福祉センター内）
TEL　098－882－8861

大里中3年生と馬天小5年生が福祉体験学習

6月6日・13日の両日、市大里農村環境改善センターと大里中学校体育館にて大里中学校3年生が福祉体験学習を行いました。この福祉体験学習は、総合的な学習の時間で「福祉」について学ぶ生徒が、車イスや視覚障がい者の体験を通して、障がいを持つ方々の正しい理解や認識を持ち、思いやりの心を持つことができるようになることを目的に行いました。

車イスの介助方法を体験中！！

車イス体験では基本的な車イスの操作や介助の仕方を勉強し、また、アイマスク体験では視覚障がいの体験をしたり介助方法を勉強しました。体験した生徒からは「アイマスク体験は怖かったけど、視覚障がい者の立場になって考えて行動していきたい」という声が聞かれました。

80歳体験中

馬天小学校では、5月25日・30日に車イス体験と高齢者疑似体験を行いました。高齢者疑似体験では、約80歳の身体になった体験をし、高齢者の状況を考えるきっかけの体験を行いました。

ある児童は、「おじいちゃん、おばあちゃんって大変なことが多いんだなと思った。お手伝いしたい。」と感想を話していました。

市民向けに介護入門講座を実施中

在宅介護やボランティアに関わる方々などに、今後の活動に役立つ知識・技能を学んでもらうことを目的に介護入門講座を実施しました。

今回の講座は16名の定員に対し、20名以上の応募がありました。7月10日から27日まで全5回の講習が実施されます。初回が高齢者疑似体験、2回目がベッドから車イスへの移乗をテーマに実施しました。受講者のみなさん全員が「なるほど！」と目からウロコの講座となっています。受講生はこの後、オムツの当て方や認知症について学んでいきます。

ベッドからの起き上がりの講習中

ボランティア担当から〇〇への話

今回は、災害ボランティアに関心のある方への話です。

近年、我が国では地震・大雨などによる被害が非常に多くなっております。

そういった災害発生時に被災地へボランティアが駆けつけることが多く見られるようになってきています。昨年発生した、東日本大震災の際は社会福祉協議会の災害ボランティアセンターに数多くのボランティアが駆けつけました。

しかし、発生直後の被災地は混乱していることが多いため、やみくもに現地へ向かうのではなく、まずは情報収集をすることが大切です。被災地の社会福祉協議会等で状況を確認してからボランティア活動へ向かってください。

また、被災地だけでなく、避難者の生活支援など離れた地域でのボランティア活動などもあります。まずは最寄りの社会福祉協議会へお問合せ下さい。

我が南城市でも、昨年11月に大雨による床上・床下浸水の被害が出るなど、身近なところでも災害が起こっています。

これからの時期は、台風による風・水害が発生することが予想されます。もし、近くで災害が発生しましたら、ボランティアとして是非ご協力をお願いします。

もちろん、まずは自身の身の回りの安全を第一に考えてくださいね！

ボランティア情報掲示板

ボランティア募集します

旧盆お掃除ボランティアを実施します。
南城市社協は、近くに身内のいない独居高齢者世帯や障がい者世帯を対象にお掃除ボランティアを実施します。下記の通り実施します。

期日：8月19日（日）
時間：9時～13時
（場所によって異なる）
場所：南城市内

興味・関心のある方はご連絡ください。

※なお、ボランティア活動する際には一度ボランティアセンターへボランティア登録を行って下さい。また、万が一のためのボランティア保険に加入することをお勧めしています。詳しくは担当までお聞き下さい。（担当：港川）